

LPガス発電機と災害用バルクを設置させていただきました

浜北区企業 ガス貯槽と発電機披露

災害時 非常用電源に



病院向けの寝具リース事業などを展開するCISリネン（浜松市浜北区）は28日夜、災害時に使用するガス発電機とLPガスのバルク（貯槽）の完成披露式を同社で開催した。周辺住民が災害時に非常用電源として利用でき、炊き出しを行うことも想定して、地元自治会の役員ら約30人が見学した。

周辺住民にも供給へ

発電機は最大出力200^{ワット}で、停電後1分以内に電力を供給。約3日間の連続運転ができる。バルクの容量は2830^{リットル}。業務用こんろなどを使い、汁物と飯約100人分が調理できる。式典では本工場を強制的に停電状態にし、発電機による復旧を再現。レトルトカレーと采の炊き出しも実演した。堂所学社長（56）は「私たちに關わる人たちが安心して生活できるように協力していきたい」とあいさつした。

発電機とバルクは、2018年の台風24号で停電をしたことを機に補助金を活用して設置された。災害時に周辺にお住まいの方へ炊き出し等もできる設備となっております。エンジン(株)にも設備がありますので、見学希望の方は当社へご連絡ください。

（浜北支局・松浦直希）

ガスバルクの利用した炊き出し設備を見学する出席者（浜松市浜北区のCISリネン）

浜北区のCISリネン様にて、災害時のガス発電機とLPガスバルクを設置させていただき、完成披露会が行われました。CISリネン様は、2018年の台風24号で停電をしたことを機に補助金を活用して設置されました。災害時に周辺にお住まいの方へ炊き出し等もできる設備となっております。エンジン(株)にも設備がありますので、見学希望の方は当社へご連絡ください。

令和2年(2020年)11月30日(月)

静岡新聞掲載